

【出エジプト記 6 章】

TLCCC FRH

「私は主である。私はあなたがたをエジプトの苦役の下から連れ出し、労役から救い出す。

伸ばした腕と大いなるさばきによってあなたを贖う。」(6 節)

神様は「私は主である。」と何度も語りかけ、アブラハムとの契約を通してイスラエルを「贖う」と素晴らしい救いの計画を語って下さっています。贖うというのは“代価を払って買い戻す”という意味です。私達人間を救い出して下さったイエス・キリストは全人類の罪を負い十字架上で身代りになって死んで下さって贖いのわざをなされました。イエス・キリストを信じるなら罪赦され神の子となり、永遠のいのちを受ける事が出来ます。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」ヨハネ 3 : 16

主は確かに素晴らしい福音を私達に語って下さっています。しかし人間は中々神様の言葉を聞かないし、聞けないのです。人間には原罪(神がしてはならないことをし、しなさいと言うことをしない。救い主を信じない)があり、不従順の子らの中に働いている霊に従って歩んでいます。またサタンが存在があります。私達の罪、弱さに働いて神に従うことが出来ないように邪魔するのです。神のことばは正しく、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益なものです。しかしそれに対して「本当にそういわれたのですか？」というサタンの惑わしにあってしまいました。ここでも 9 節「モーセはこのようにイスラエル人に話したが、彼らは落胆と激しい労役のためモーセに聞こうとはしなかった。」と記されています。モーセは「イスラエル人でさえ、私の言うことを聞こうとはしないのです。どうしてパロが私の言うことを聞かしょう。私は口べたなのです。」と。

私達は神のことばを聞けるように祈りましょう。中々聞き従えない事を主に申し上げて、それを感謝し、聞き従えるように神の力を頂きましょう！神のことばを聞いて、従順する時に私達は大きな神のわざを見、栄光を見ましょう。

今回チェコにチームが派遣されて素晴らしいみわざが起きました。「預言」の本がチェコ語に翻訳されたいきさつが雲の間にある虹誌 7 月号に載っています。自分だったら文句を言うようなことを“感謝した”という記事を読んで関心を持ち始めて信仰を回復し、翻訳に至ったというのです。また、医学では不可能な病も次々に癒されています。これ等は神のことばを聞いて従順したことから起こっています。なおなお素直に聞き従って神の栄光のみわざを見て参りましょう！！

天に登録されている長子たちの教会

Church of the **F**irstborn who are **R**egistered in **H**eaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重



Siloam



6月21日 No.846

(シロアム:遣わされた者 ヨハネ 9:7)

今年のみ言葉

あなたとともにいるこの民はみな、**主のわざを見る**であろう。

わたしがあなたとともに**行くことは 恐るべきものである**。

(出エジプト 34 : 10)

♪さあ皆で主の山に登ろう ヤコブの神の家～

主は道を教え 我等はそれを行く～♪

主の十字架クリスチャンセンター The **L**ord's **C**ross **C**hristian **C**enter

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>